

立ち止まって、一緒に考えてみませんか？

「子宮頸がんワクチンを考える」

2013年に定期接種とされた子宮頸がん予防ワクチン。しかし、子宮頸がんワクチンを打った後、頭痛や関節痛など体中に激しい痛みが生じ、けいれんや記憶障害など重篤な症状が現れ、国は積極的な勧奨を中止しました。

ところが、「安全性について特段の懸念が認められないこと、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回る」として 2022年4月から勧奨を再開しました。県内でも「定期接種」として接種の奨励が進められていますが、本当に安全性・有効性に問題はないのでしょうか。一度立ち止まって一緒に考えてみませんか？

期日

10月22日(日) 13:30~(受付開始 13:00)

会場

協働大町ビル 秋田市大町3丁目2-44 018-863-2111

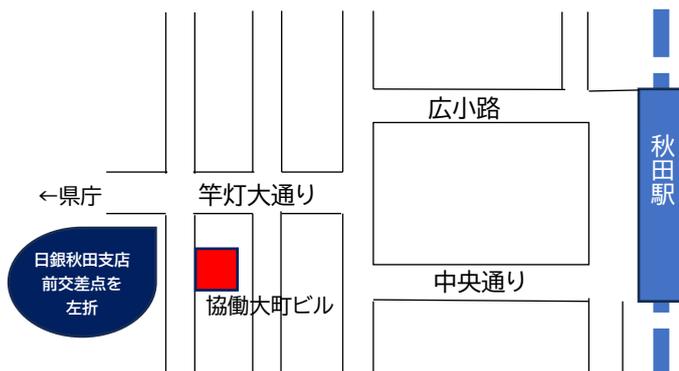
講演 「子宮頸がんワクチンの是非」

講師 加藤 純二さん (内科医)



1944年生まれ。
1970年東北大学医学部卒、1974年東北大学大学院修了。
1979~1982年米国国立癌研究所に留学。
その後、宮城県村田町国保病院・内科医長を経て1988年から仙台市・宮千代加藤内科医院にて診療。
1997年~薬害オンブズパースン会議メンバー
日本アルコール関連問題学会会員、宮城県断酒連合会顧問
有害物質から子どもを守る会代表。集団フッ素洗口や新型コロナウイルスワクチン接種等にも警鐘を鳴らす。

- ◆ 参加費無料
- ◆ どなたでも参加できます。
- ◆ 申し込み・問い合わせは、下記事務局まで
- ◆ Web参加の方は下記メールへ事前にお申し込みください。



申し込み
はこちら
から →



案内チラシ
はこちら
から →



— 主催・事務局 —

有害物質から子どもを守る会

秋田県内を中心に、薬害や集団フッ素洗口の問題点などを学び合いながら活動している市民グループです。

連絡先/090-2992-5639 (佐々木)

090-5182-6299 (松井)

E-mail/sakuradayuko.st@gmail.com